

6-9

デイサービス職員におけるステッキレスの効果

介護予防事業に向けた予防プログラムの実践

意識改革

行動変容

調布市ちょうふの里 高齢者在宅サービスセンターちょうふの里

介護職員 小林雄介

介護職員 大浜裕子

東京都調布市西町290-5

東京都老人総合研究所ならび OGA 技研

TEL 042-441-6651

E-mail choufu-st@oregano.ocn.ne.jp

FAX 042-441-6657

今回の発表の施設
またはサービスの
概要 10p

社会福祉法人東京かたばみ会は調布八雲苑を母体とし、現在は調布市で老人介護施設2ヶ所・保育施設1ヶ所の3施設でサービスを提供しています。

〈取り組んだ課題〉

- デイサービス職員によるステッキレス運動「以下、（ステッキレス）という。」の効果検証
- ステッキレスに対する知識の取得と意識の向上
- ステッキレス導入に向けた利用者・家族への周知
- ステッキレス参加者への説明と理解(同意)
- ステッキレスの実施方法と効果の検証

〈具体的な取り組み〉

- ステッキレスの検証のため、トレーニング群とコントロール群(待機)及び重介護度対象者群に3分する。
 - ・1グループ3ヶ月(12プログラム)として実施。
 - ・待機を強いるコントロール群に介護予防(ステッキレス)だよりを配布し参加意識の強化を図る。
- プログラム検討委員会を設置し、ステッキレスをデイサービス活動の一環として実施する。
 - ・環境の改善と他活動との妥当性の検討
 - ・利用者の反響や他活動との調整
- 職員全体に機械の操作や準備運動の方法・緊急時の対応等の研修の実施。
- 利用者説明会ならび家族会を実施し予防メニューの導入について理解(同意)を得る。
 - ・介護予防の必要性と導入予防メニューの目的
 - ・疾病や痛みの把握と緊急時の対応方法
- トレーニングの実施
 - ・プログラム帳の作成と記録
 - ・実施状況の指導・助言
- 介護予防通所介護メニューとしての検証
 - ・事前事後測定の実施
 - ・予防メニュー対象者の抽出

〈活動の成果と評価〉

- 専門的な教育を受けていれば、デイサービスの職員によるトレーニングでも効果のあるメニューが提供できた。
- プログラム検討委員会の設置により、予防メニューと従来実施してきた活動との整合性を図ることが出来た。
 - ・集団的機能訓練活動が多かったが、より個別性を重視した機能訓練活動に幅が広がった
- 活動環境の整備ならび緊急時の対応の確認をしたことで、危機管理(リスクマネジメント)意識を高めることができた。
- 介護予防事業の本格実施に向けた取り組みへの意識強化を図ることが出来た。
 - ・運動への拒否が見られる利用者においても、他の利用者との相乗効果により運動習慣が現れた。
 - ・日々の実施状況を利用者が自ら記録することにより自己管理の意識が高まった。
 - ・数値によるモニタリングが、利用者にとっても、明確で反響が高かった。

〈今後の課題〉

- 今回実施した予防メニューを利用者のパフォーマンスに繋がるよう検討していく
- デイサービスプログラムとして、利用者の意欲を引き出せる活動のあり方を検討する。

〈参考資料など〉

- 今回の事業は、東京都老人総合研究所ならび OGA 技研と共同研究で実施しております。